

事務事業評価表 平成22年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 危機管理の強化・充実
 基本事業 施策の総合推進

事業名 **江別河川防災ステーション管理経費**

[0302]

部名	建設部	事業開始年度	平成14年度	実施計画事業認定	非対象
課名	都市建設課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>河川防災ステーション</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>施設が適切に管理運営され、災害時に防災拠点として利用される。また、平常時には利用者が快適に利用できるとともに、防災意識の向上が図られる。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>河川防災ステーションの維持・管理を行う</p>

事業量・コスト指標の推移		区分	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	施設数		施設	1	1	1	1
対象指標2							
活動指標1	開設日数		日	308	308	308	308
活動指標2							
成果指標1	不具合件数		件数	1	3	4	0
成果指標2	利用者数		人	46,242	57,149	64,645	
単位コスト指標							
事業費計 (A)			千円	15,963	15,529	15,192	16,319
正職員人件費 (B)			千円	3,350	4,179	2,489	2,498
総事業費 (A) + (B)			千円	19,313	19,708	17,681	18,817

費用内訳	
21年度	需用費 3,630千円、役務費 136千円、委託料 11,078千円、使用料及び賃借料 54千円、備品購入費 294千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	水防活動の拠点の維持管理や平時の施設利用促進のため。	事業を取り巻く環境変化	平成16年度からは、各種イベントが開催され平時の利活用が進んでいる。
--------	----------------------------	-------------	------------------------------------

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

洪水時の対応としての資材の備蓄、水害歴史の後世へ伝達、とくく忘れがちな災害の教育・訓練などは、公的機関である市が行うのは責務と考えている。
さらに、平常時の利活用である江別の物産・観光を多くの近隣住民及び国道通過に提供することで、観光・物産産業の発展に寄与できる。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

当該施設を利用し、生涯学習・社会見学・自主防災組織の教育訓練などの体験型利用により、防災の拠点の意識が高まり、防災意識の高揚に寄与する。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

現在の維持管理水準を最低限堅持すれば、施設利用に対する不具合（老朽化に起因するものを除く）は起きないものとする。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

施設利用における苦情件数の目標を0件と考えていることから、これ以上の成果向上は考えられない。
しかし、現実には、多種多様な人間がいることから、まったく無しにはならないので、中と考える。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

最小限の経費で管理運営している。